

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第2回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
◇質問の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

凡例
自由民主党西東京市議団(自 民)
西東京市議会公明党 (公 明)
日本共産党西東京市議団(共 産)
立憲フォーラム (立 憲)
統一会派みらい (みらい)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

小中一貫教育に不明確な点がある
拙速な本格実施はすべきでない

中村 すぐる (共産)

「目指す子ども像」とは

「質問」 来年4月から小中一貫教育の開始が予定されているが、計画の中にある「目指す子ども像」とは何か。

「答弁」 本市の教育目標や市民調査等の結果を踏まえて、現在文言の整理を行っている。今年度中に確定させる。

「意見」 「目指す子ども像」は小中一貫教育の最も核になる部分ではないのか。場

合によつては、2020年3月に文言が決まり、その翌月から小中一貫教育が開始される。そんな状況はおかしいではないか。そもそも「目指す子ども像」を決めること自体に大きな疑問と懸念がある。

「質問」 「小中一貫教育の開始に伴い検討されている「学校生活のルール統一化」

とは何か。
「答弁」 学校生活のルールにおける小中学校の垣根をなくすことを狙いとしている。

「質問」 例えは世田谷区立桜丘中学校で行われている「校則がない」といった取り組みは、本市のルール統一化後も可能なか。

「みんなが違って当たり前」
生徒の意見を尊重した学校改革を

大竹 あつ子 (共産)

「質問」 世田谷区立桜丘中学校は発達障害や性同一性障害の生徒など、インクルーシブ教育の観点から私服を認め、校則をなくした。また、

た広島県の一部の学校では、学校になじめない隠れ不登校の生徒などの居場所を校内に設けている。こうした先進的な取り組みに対する教育長の見解は。

「答弁」 特色のある教育と評価するが、決まりを守る態度を養うことも必要だ。

「意見」 校則は生徒に意見を聞くべき。桜丘中は校則がなくとも生徒は落ち着いていた。視察を求める。

「質問」 本市は近隣他市に比

べ、特養の待機者が2.3倍多いが特養の整備計画はない。特養の誘致を進めるべきだが見解は。また、なぜ特養の待機期間が3.5年もかかるのか。待機者の把握はどのように行っているのか伺う。

「答弁」 特養の増設については次期介護保険事業計画の検討課題とする。待機者の把握については、他施設に入っても申し込みの取り消しをしない人も多く、施設側と状況把握に努める。

「意見」 目黒区は年に2回、全待機者に状況確認を行っている。正確な状況確認で、より緊急度の高い待機者が早く入れるようにすべき。

「質問」 市が進めている小中一貫教育は、授業の方法を全市統一するとしているが、教育課程は、その学校の子どもたちの状況を踏まえ、各学校で決めると位置づけている学習指導要領に反するのではないか。

「答弁」 授業スタイルを提案するが、そのみで完結するのではなく、教員の創意工夫は今後も変わらない。

来年4月の小中一貫教育実施は
見直し、市民との十分な議論を！

保谷 清子 (共産)

「質問」 小中一貫教育について

があるが、どうこれに答えるのか。
「答弁」 小中一貫教育で、学びの連続性を踏まえた教育課程の編成が重要と考える。

「意見」 小中一貫教育にこだわることなく、子どもにとって何が大事か、市民・保護者・教員の皆さんなど大いに議論をすること、来年4月からの本格実施は見直すことを求める。

「質問」 授業スタイルを提案するが、そのみで完結するのではなく、教員の創意工夫は今後も変わらない。

「意見」 目黒区は年に2回、全待機者に状況確認を行っている。正確な状況確認で、より緊急度の高い待機者が早く入れるようにすべき。

「質問」 市から「教育委員会にやって欲しいのは小中一貫教育ではなく、トイレを直したり、学校の校舎の改善・改修をしたり、少人数学級の実現、教師の人数を増やすなどだ」という声

高い国保料を引き下げため、
均等割多子減免と法定外繰入を！

藤岡 智明 (共産)

「質問」 年収の1割近くの高い国保料に悲鳴が上がっている。国保財政健全化計画策定により、市の法定外繰入解消・削減で国保料が大幅改定されるが、その考え方について伺う。また、高すぎる国保料の要因に均等

割がある。子どもの均等割減免を求めるが見解を問う。
「答弁」 法定外繰入は給付と負担の関係が不明確で、国保以外の方々の負担を求めため、適切な保険料を定める必要がある。負担軽減については、厳しい国保財



(仮称) 第10中学校の中庭

本当にこれでいいのか西東京
市民に丁寧な対応を

小峰 和美 (みらい)

「意見」 市長は過去の経緯でつくられた議会でも議決事項となる基本構想・基本計画は議会に何の報告もなく消し去ってしまったのか。

「答弁」 各地での取り組みを参考にしつつ事業展開する。子どもたちが親しみを感している芸能人が薬物使用で逮捕された。多感な時期である小・中学校の薬物乱用防止の取り組みは。

「質問」 子育て支援は各市町村で重点施策として取り組んでいる。切れ目のない支援をどう捉えているか。

「質問」 電子図書導入事例

「意見」 小学校の運動会が行われた5月25日は季節外れの猛暑になり熱中症の危険があったが、現場の学校関係者と教育委員会の適切な措置により事故なく終了できた。関係方々に感謝する。

「質問」 生活保護世帯への塾代の助成が高校生にまで拡充されたことについて問う。

「意見」 理想として、できる限り教育の機会は均等であるべきで、教育が子どもの置かれた経済環境に左右されてはならない。以上の理由で、さらなる助成の拡充

「質問」 幼稚園・保育園・ひいらぎ・小学校の発達支援の連携について問う。

「意見」 発達支援の体制については一定の評価をしている。現状に甘んじることなくさらなる水準の向上を求める。幼稚園・保育園と小学校の連携がまだ弱いので強化を求める。S教室が未設置の小学校に通う児童に

「質問」 現在、生活指導主任会で学校生活の決まりについて確認作業を行っている。

公民館・図書館について
「質問」 法改正で市民の自主的な学びの場として社会教育の中心的拠点である教育委員会所管の公民館、図書館が、自治体の判断で市長部局に移管することが可能になったが、見解を伺う。
「答弁」 今後とも教育委員会が所管することを基本とすべきとした中教審答申を踏まえて、慎重な議論が必要。

「意見」 国保には加入者の所得は低いのに保険料は被用者保険比で一番高いという構造問題がある。この解決には国費負担の1兆円増で協会けんぽ並みの保険料にするしかない。これに国が応じない現在、市として法定外繰入の継続や、子どもの均等割減免で負担軽減を行うのが自治体の役割だ。

「意見」 国保には加入者の所得は低いのに保険料は被用者保険比で一番高いという構造問題がある。この解決には国費負担の1兆円増で協会けんぽ並みの保険料にするしかない。これに国が応じない現在、市として法定外繰入の継続や、子どもの均等割減免で負担軽減を行うのが自治体の役割だ。

「意見」 国保には加入者の所得は低いのに保険料は被用者保険比で一番高いという構造問題がある。この解決には国費負担の1兆円増で協会けんぽ並みの保険料にするしかない。これに国が応じない現在、市として法定外繰入の継続や、子どもの均等割減免で負担軽減を行うのが自治体の役割だ。

「意見」 国保には加入者の所得は低いのに保険料は被用者保険比で一番高いという構造問題がある。この解決には国費負担の1兆円増で協会けんぽ並みの保険料にするしかない。これに国が応じない現在、市として法定外繰入の継続や、子どもの均等割減免で負担軽減を行うのが自治体の役割だ。

「意見」 国保には加入者の所得は低いのに保険料は被用者保険比で一番高いという構造問題がある。この解決には国費負担の1兆円増で協会けんぽ並みの保険料にするしかない。これに国が応じない現在、市として法定外繰入の継続や、子どもの均等割減免で負担軽減を行うのが自治体の役割だ。



「その他質問等」
◇小中学校の英語教育・歴史教育 他